

## ショートコメント vol.202 (2021年4月15日)

**テーマ：ワクチンが支える街角景気の先行き期待**  
 ～今や東京オリンピックの開催をしのぐ存在に～

### ●街角景気の推移

いわゆる街角景気の推移を示す、内閣府「景気ウォッチャー調査」の21年3月調査では、関西の現状判断は前月比で7.4ポイント上昇した一方、先行き判断は4.7ポイントの低下となった(図表1)。これはほぼ全国と同じトレンドである。

緊急事態宣言の解除に伴い、各業種で客足が一定の回復をみせ、現状判断の上昇につながったものの、すでに次の感染拡大が始まっている。結果として、今後の景気悪化への不安が高まり、先行き判断は低下する形となった。

### ●景気の先行き判断の動き

先行き判断の推移に注目すると、新たな感染拡大によって低下が進んでいるものの、いくつかのプラス材料に押し上げられている部分もある。仮にそれらの材料がなければ、もっと低下する可能性があったといえよう。

景気ウォッチャー調査では、景気の定量的な判断に加えて、その判断の元となる定性コメントも聴取している。3月調査で言及の多かったプラス材料としては、「ワクチンの接種効果」、「東京オリンピックの開催に向けた盛り上がり」、「GoTo事業の再開」の3つが挙げられる。

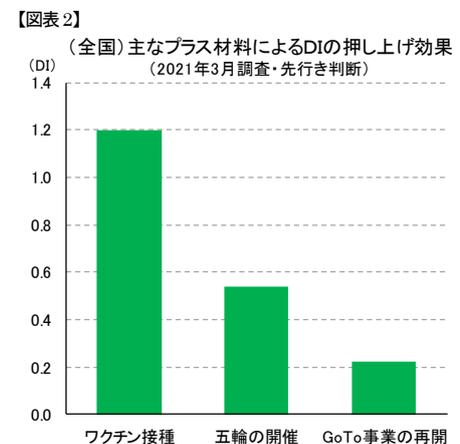
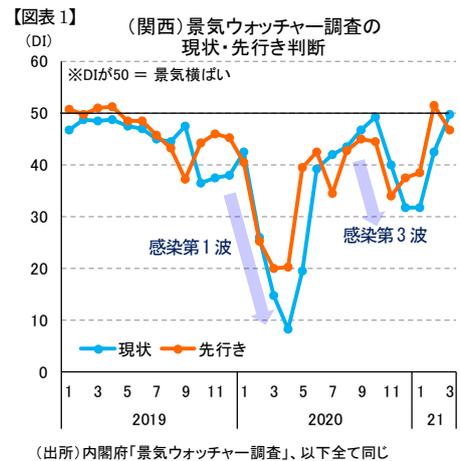
実際にコメントを集計すると、全国の総コメント数1434件のうち、ワクチン関連が230件(全体の16%)、五輪関連が98件(同7%)、GoTo関連が51件(同4%)を占めている。最も多いのがワクチン関連であり、五輪関連の2倍以上に上る。世界的な一大イベントを大きく上回るという事実が、ワクチンへの関心の高さを示している。

### ●プラス材料によるDI押し上げ効果

これらの材料が景気判断をどの程度押し上げたのかにつき、推計を行った結果が図表2である。

各コメントが付された景気判断を集計すると、それぞれがDI全体を数ポイント押し上げたことが分かる。図表のとおり、最も大きな上昇につながったのが「ワクチン関連」であり、3月の先行き判断DIを1.2ポイント押し上げている。

もちろん、これらの結果はコメント数に比例する部分もあるが、五輪関連による押し上げは0.5ポイントにとどまっており、今やワクチン接種効果への期待は、東京オリンピックをしのぐ存在ともいえよう。それだけ新型コロナによる悪影響が大きく、感染の収束が見通せない今、ワクチンの接種が唯一といってもよい期待材料となっている。



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

●地域別の動向

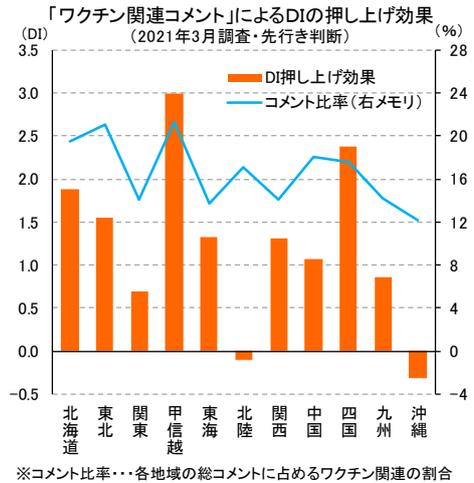
さらに、ワクチン関連のコメントが DI に及ぼす影響を地域別にみると、図表 3 のとおりとなっている。

地域ごとのばらつきは大きいですが、11 地域中 7 地域で 1 ポイント以上の押し上げがみられる。中でも甲信越、四国は 2 ポイント以上と大きな上昇につながった。

一方、関西は 1.3 ポイントの上昇と、全国の 1.2 ポイントを上回る水準となっている。全国的にみても感染が厳しい地域であり、やはりワクチンに寄せられる期待は高い。

ただし、接種の場所や医療関係者の確保など、大都市圏ならではの課題は多く、予想以上に時間のかかる可能性は否定できない。期待が失望に変わる懸念もあるだけに、まずは高齢者向けの接種の進捗が注目される。

【図表 3】



本件照会先：大阪本社 荒木秀之  
TEL : 06-6258-8805 mail : hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。